

令和元年5月29日（水）

第5回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和元年5月29日(水)午後2時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 倉部 俊治 委員 豊島 秀範
委員 長谷川浩子 委員 足立 俊弘
委員 蒲田 知子
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員

教育総務部長	丸 智彦	生涯学習部長	木下登志子
生涯学習部次長兼生涯学習課長兼生涯学習センター長兼公民館長			菊地 統
総務課長	森田康宏	学校教育課長	榊原憲樹
指導課長兼小中一貫教育推進室長兼少年センター長			戸塚美由紀
教育研究所長	遠藤美香	学校教育課主幹	藤岡宏子
学校教育課主幹	岡田一男	文化・スポーツ課長	小林由紀夫
鳥の博物館長	斉藤安行	図書館長補佐	宇賀神 修
文化・スポーツ課主幹兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長			辻 史郎
6. 欠席事務局職員 図書館長 櫻井 實

午後2時00分開会

○倉部教育長 ただいまから令和元年第5回定例教育委員会を開会いたします。

会議録署名委員指名

○倉部教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名します。足立委員にお願いします。

議案第1号

○倉部教育長 日程第2、議案の審査を行います。

議案第1号、我孫子市いじめ防止対策委員会委員の委嘱について、事務局の説明をお願いします。

○戸塚指導課長 我孫子市いじめ防止対策委員会委員の委嘱についてです。提案理由です。我孫子市いじめ防止対策委員会委員の任期が満了するため、我孫子市いじめ防止対策委員会設置要綱第2条第2項の規定に基づき、我孫子市いじめ防止対策委員会委員を委嘱するため、提案するものです。

2ページのほうに候補者を載せてございます。昨年から引き続きやっていた委員の方が多いのですが、2番の警察関係者の方、そして7番のPTA連絡協議会に属する者が1名が新任となっております。以上です。よろしくお願いいたします。

○倉部教育長 以上で説明が終わりました。これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

○倉部教育長 これより採決いたします。

議案第1号、我孫子市いじめ防止対策委員会委員の委嘱について、原案に賛成の委員は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

○倉部教育長 挙手全員と認めます。よって議案第1号は可決されました。

議案第2号

○倉部教育長 続きまして議案第2号、我孫子市生涯学習審議会委員の委嘱について、事務局の説明をお願いします。

○菊地生涯学習部次長 それでは議案第2号、我孫子市生涯学習審議会委員の委嘱について、我孫子市生涯学習審議会委員を次のとおり委嘱する。提案理由でございます。我孫子市生涯学習審議会条例第3条第2項の規定に基づき、新たに委員を委嘱するため、提案するものでございます。

4ページのほうをお開きください。委員の方々につきましては、委嘱期間が令和元年7月1日から令和4年6月30日まで、委嘱年月日が令和元年7月1日、人数については15人でございます。15名のうち8名の方が新任、残りの方が2期目という形で、新任の方につきましては、それぞれ役職の変更とか、新たに公募の方につきましては、2名ほど公募をして選任させていただきます。以上でございます。よろしく御審議ください。

○倉部教育長 以上で説明が終わりました。これより質疑を許します。質疑はありますか。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

○倉部教育長 これより採決いたします。

議案第2号、我孫子市生涯学習審議会委員の委嘱について、原案に賛成の委

員は挙手を願います。

(賛成者挙手)

○倉部教育長 挙手全員と認めます。よって議案第2号は可決されました。

議案第3号

○倉部教育長 続きまして議案第3号、我孫子市文化財審議会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○小林文化・スポーツ課長 議案第3号、我孫子市文化財審議会委員の委嘱について御説明いたします。5ページになります。提案理由ですが、我孫子市文化財審議会委員の任期満了に伴い、我孫子市文化財の保護に関する条例第19条第1項の規定に基づき、我孫子市文化財審議会委員を委嘱するため、提案するものです。

名簿につきましては6ページになります。委嘱期間は、令和元年6月1日から令和3年5月31日までになります。委嘱年月日が令和元年6月1日です。

委嘱人数が7人で皆さん再任になりますが、文化財審議会委員ということで専門的な知識が要るということで、皆さん再任ということになっています。よろしく御審議のほどお願いします。

○倉部教育長 以上で説明は終わりました。これより質疑を許します。いかがでしょうか。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

○倉部教育長 これより採決いたします。

議案第3号、我孫子市文化財審議会委員の委嘱について、原案に賛成の委員は挙手を願います。

(賛成者挙手)

○倉部教育長 挙手全員と認めます。よって議案第3号は可決されました。

諸 報 告

○倉部教育長 日程第3、諸報告を議題とします。

事前に配付された事務報告、事務進行予定資料等に補足する説明や追加する事項があればお願いします。——特によろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないようですので、これより事務報告に対する質疑に入ります。質疑を許します。いかがでしょうか。

○長谷川委員 5ページの指導課の1番目の内容に「今年度のICT教育方針」ですとか、「各校のICT活用状況」とありますが、どのようなお話し合いがされたのか、御説明いただけるでしょうか。

○戸塚指導課長 内容についてですが、ICT教育担当者等もかわっているので、改めてICT教育の進め方についての確認やホームページが今度バージョンアップしますので、そのことについての確認等をしました。今まではICT支援員さんは別の日に会議を行っていたのですが、同日に行うようにしまして、同じ情報を共有しております。以上です。

○長谷川委員 今までの委員会や学校を訪問したときに、各校のタブレットの使用状況とか支援員さんのお話をお伺いしています。お伺いしたときと今の時点では、支援員さんの人数等が変わってきているものもあると思います。今度プログラミング教育も始まりますが、今後どういうふうに進めていくのか計画などまとめたものがあるようでしたら、また後ほどでも構いませんので教えていただけたらと思います。

○戸塚指導課長 後日、また資料をお渡しするという形でもよろしいですか。

○長谷川委員 お願いします。

○倉部教育長 この内容については、皆さん関心を持っている内容ですので、改めて資料をいただければ、またそれを見て御質問があると思いますので、よろしくをお願いします。

○戸塚指導課長 申し訳ございません。

○倉部教育長 ほかにいかがでしょうか。

○長谷川委員 15ページの文化・スポーツ課の一番下のところで「(2) 文豪とアルケミスト キャラクターパネル「志賀直哉・武者小路実篤・有島武郎」展示」の企画ですが、ゴールデンウィークの特別企画の1つとして開催されたと思います。入場者数「529人」とすごくたくさん来ていただいているうれしい限りですけれども、これだけたくさんの方がいらしていただいたことで、何か近隣の方とか苦情があったりですとか、また逆に、参加した人から何か御意見がありましたら教えてください。

○辻文化・スポーツ課主幹 当初、早朝から何かイベントをさらに行おうかという話もありましたが、そうすると小さな館の前に行列ができたりとかすると大変なので、そういったことはやりませんでした。通常の業務時間内の10日間で500人を超える人が来たということは、まず遠方、各地からお客様が来たということと、例えば親子連れ、中学生のお嬢さんとお父さんという組み合わせの方が車に乗せてもらって来たりだとか、今まで私どもがターゲットとしてきた高齢者の方々ではない世代、特に若い年齢層の方々が多く見えたということが非常によかったと思います。

アンケートでも「初めて志賀直哉の直筆を見ました」と。「いわゆる仮想上、インターネット上だとかそういったところでは見たことがありますが、実物の原稿は見たことがなかったのでよかった」、それから「学芸員のトークが非常におもしろくて複数回通ってしまった」という声もありましたので、また機会

を捉えて、こういった形で展開していきたいというふうに考えています。

○倉部教育長 よろしいでしょうか。

○長谷川委員 ありがとうございます。

○倉部教育長 これは具体的に、例えばどのような催しだったかということをもう少し説明してもらっていいですか。

○辻文化・スポーツ課主幹 DMMという、いわゆるスマートフォンのゲームを展開しているキャラクターのパネル、物としては高さ1.5メートルぐらいのものを並べているだけですが、そういったものと生の原稿がリンクしているということがまずないとされています。

例えば晴海だとか幕張とかで開かれているイベントだと、バーチャルのものとかそれに関連するグッズは置いてありますが、実際にそこに原稿が置かれていたり、本が置かれていたりすることがないので、いわゆる仮想世界と現実を結ぶようなことができたということです。

それから学芸員のトークにつきましては、志賀直哉、武者小路実篤の活動と、実際に我孫子でどんなことを考えていたのかということを知りやすく音楽も合わせながら説明したということで、一般の方にも非常にわかりやすく我孫子らしいものができたのではないかとこのように考えております。

○倉部教育長 ありがとうございます。とても我孫子らしいイベントで、それでこんなに人が呼べるのだという、驚きもあったのですが、これから事業を進める1つの目標になったのかなと思います。去年の土蔵での事業で、若い人を対象とした事業が、これから掘り出せば、何かいろいろなものにつながっていくのではないかとこの期待が出てきたかなというふうに思っています。今後ともそういうものを含めて、幅広い年代をターゲットにさせていただきたいと思っています。

ほかにいかがでしょうか。

○蒲田委員 鳥の博物館ですが、この10連休の間、いつもとちょっと連休の形は違ったと思いますが、どのような来館者がいらっしやったのか。「つばさうちわをつくろう」の参加者が699人と、とても多く参加していますので、どのくらい来館者の方があったか様子を教えてください。

○斉藤鳥の博物館長 お答えします。確かに10連休ということで、いつもよりたくさんの方の来館者をお迎えしたのですが、この連休中の入館者数を見ていくと、例年連休の5月3日、4日、5日の3日間よりも今年の方の方が少なかったです。ところが、10連休を比べてみると、ここ15年の間で一番多かったというようなことで、平均的に一定人数のお客さんに来ていただいたのかなと思います。

連休中にはいろいろな方に来ていただけたらと思います。ウエルカムイベントとして「つばさのうちわをつくろう」という工作イベントを行いました。翼の写真を撮ったものを実物大にプリントし、それをはさみで切ってもらい持ち帰るという内容です。博物館に来た人が、博物館を持ち帰りたいという気持ちに応えようということで行いました。来た方はほとんど参加してくれて、うちわを持ち帰り喜んでいただきました。ウエルカムイベントとしてはよかったのではないかと考えております。以上です。

○倉部教育長 ありがとうございます。いかがでしょうか。

○蒲田委員 今、館長が「ウエルカムイベント」とおっしゃいましたが、今までの鳥の博物館のイベントだと、お子さんがつくるものが多かったのですが、これだけの参加者がいるというのは、大人の方も楽しめるものを企画されたということで本当によかったのではないかなと思いました。ありがとうございます。

○倉部教育長 ほかに事務報告についていかがでしょうか。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に事務進行予定について、質疑があればこれを許します。事務進行予定についていかがですか。

○足立委員 19ページの図書館の「おはなし会」、それから「親子で楽しむおはなし会」ということで、これまでも長い期間このおはなし会の活動、取り組みをなさっていると思います。素話とか絵本の読み聞かせというのは、読書への入り口としてとても意義のある取り組みだと思います。取り組みとしては地味なのかもしれませんが、私は末永く、これからもずっと継続してやっていただきたいなというふうに感じております。先ほどの事務報告でも参加人数が出ておりましたが、対象年齢が小学生ぐらいのおはなし会のほうは、なかなか参加人数が一桁ぐらいで、人数が多ければいいというものでもないのかもしれませんが、取り組みを続けている中で何か課題としているようなことがございましたら、教えていただきたいなというふうに思います。

○宇賀神図書館長補佐 おはなし会に対する御理解ありがとうございます。図書館にとっても、おはなし会、絵本の読み聞かせ、または素話、そういったものを非常に大事にしていきたいと思っております。

確かに委員のおっしゃるとおり、土日にやってはいますが、どうしてもお子さんが少なくなってきたり、いろいろなイベントがあつてそれに分散してしまうとか、あと子供1人だけで来られない、昨今の状況もあると思いますけれども、そういったこともありまして、なかなか伸び悩んでいるという状況もあります。4歳から9歳のおはなし会ではないですが、親子で楽しむおはなし会は、0歳から3歳が対象で、保健センターの離乳食教室での絵本の読み聞かせと、図書館の市民スタッフの方が離乳食教室の前の時間を利用して、図書館の利用案内や読み聞かせをやっております。そこでおはなし会に関する御案内もさせてい

ただいています。それを聞いておはなし会のほうに来ていただいくこともあり
ましたので、そういった活動も通じて、地道に参加者数をふやすようにしてい
きたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

○足立委員 大変よくわかりました。さまざまな取り組みをされているという
ことがよくわかりました。人数が少ないからといってやめるようなことがない
ように、来ているお子さんにとっては、これで本への興味が1人でもふえれば、
それは成果として胸を張って言えるのではないのかなというふうに思いますの
で、今後とも継続してどうぞよろしくお願ひいたします。

○倉部教育長 答弁はよろしいですか。ふだんの地道な活動へのエールだと思
っていますので。

○宇賀神図書館長補佐 人数が少ないということですが、特にゴールデンウィ
ーク中などは、皆さんいろいろと予定があるということで、そちらに行ってい
まっているのだと思いますが、委員のおっしゃるとおり、これからも地道に継
続してやっていって、参加者数が増えるようにしていきたいと思っております。
ありがとうございました。

○倉部教育長 ほかにいかがでしょうか。

○蒲田委員 11ページの2番「令和元年度第1回生涯学習審議会」の内容と
して、2番目に「成人式の対象年齢について」とありますが、このあたりはど
ういったことを事務局で考えているか、教えてください。

○菊地生涯学習部次長 御存じのとおり、成人式の関係は、全国的にも対象年
齢の引き下げ、18歳からのものについて、いろいろな考え方が示されてい
るところです。近隣では松戸市が早々に対象年齢のことについての方針を記者発
表されたようで、松戸市のほうでは例年どおりというような方針でやっている
というふうに聞いております。

事務局としては、今までどおり、例年どおりの年齢で、二十歳で行いたいと

いうふうに考えておりますので、こちらのところについては審議会の皆さんからの意見も聞いていこうというふうに考えております。

その理由としては、1つは、18歳とする場合については、受験真ただ中であることや最初の年度は18歳、19歳、20歳と、そういったような形で3回、もしくはそれを1回で実施するということにもなってしまう、こういうことをすることによる会場のキャパの問題であるとか、そういったようなことがかなり懸念されること、それから保護者の負担、例えば18歳と二十歳の子が一緒にいる場合については、1年間で一度に例えば和服とか洋服の準備とか、そういったものが負担にかかってしまう。

それから、我孫子市の場合もそうだと思いますが、対象年齢を一気に3年一遍にやってしまうということによって、呉服屋さんが大変なことになってしまう。こういったようなことが想定され、また日本財団でも、この件に関していろいろと調査をした結果、やはり同様の懸念が示されたということもございました。

こういったことを事務局のほうとすれば、懸念されるということを審議会の皆さんのほうにもお伝えをした中で、我孫子市としてどうするのかという意見を聞いていきたいというふうに考えております。以上です。

○蒲田委員 いろいろ検討しているということでもよくわかりました。ありがとうございます。

○倉部教育長 ほかにいかがでしょうか。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に教育事業全般について、質疑あるいは御意見があればお願いします。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。
